

1 出題のねらいと内容

地理、歴史、公民に関する知識及び調査や諸資料から情報を読み取りまとめる技能並びに社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、「国際連合の役割と取り組み」を題材とし、20世紀以降の世界の歴史に関する知識や、国際連合の仕組みと役割、持続可能な開発目標に関する知識をみようとした。

第二問では、「オセアニア州の3か国」を題材とし、世界地理に関する知識及び地図や統計資料から情報を読み取る技能並びにオーストラリア政府が移民などへの英語教育に力を入れている理由について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第三問では、「古代から近代までの日本の政治体制」を題材とし、歴史に関する知識及

び選挙権の拡大を求める大正時代の活動について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第四問では、「国民主権と政治参加」を題材とし、国民主権に関する知識及び松山市の若年層に対する選挙啓発活動について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第五問では、「九州地方の特色」を題材とし、日本地理に関する知識及び統計資料から情報を読み取る技能並びに半導体関連企業が熊本県に集まった理由について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第六問では、「日本の労働環境の歴史」を題材とし、公民や近現代の歴史に関する知識及び中小企業が働き方改革に取り組む目的について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞公民的分野を中心とする歴史的分野との融合問題

近現代の歴史について、時系列に関わる視点から理解することに課題

2 国際連盟の設立から国際連合が発足されるまでの間の世界のできごとについて述べた文を、年代の古い順に並べかえる問題。正答率は42.0%であり、20世紀前半から中ごろまでの国際情勢について、時系列を踏まえた理解が不十分であったと推察される。年表などの諸資料から、歴史に関わる事象についての情報を読み取り、時系列に沿った整理を行う活

動を重視したい。

5 SDGsの達成に向けた日本政府の具体的政策と関連するSDGsの目標を選択する問題。正答率は95.6%であった。SDGsに関する基本的な知識を、資料から読み取れる情報と関連付けることができているといえる。

＜第二問＞地理的分野を中心とする問題

資料から必要な情報を読み取り、考察して表現することに課題

4 (2) オーストラリア政府が移民などへの英語教育に力を入れている理由として考えられ

ることを、資料を基に説明する問題。オーストラリアで英語を母国語としない移民が増加していることには触れていたが、「成人移民英語プログラム」の実施目的にまで言及できていない解答が多かった。資料から必要な情報を読み取り、適切に表現する活動のより一層の充実が望まれる。

＜第三問＞歴史的分野を中心とする問題

各時代の特色を、政治の展開や社会の様子に着目して理解・考察することに課題

- 1 8世紀の日本の政治について述べた文として最も適切なものを選択する問題。正答率は39.7%であった。藤原道長や天武天皇について述べた選択肢を選んだ解答が多く、律令国家の確立に至る過程や、奈良時代の政治についての理解が不十分であったと推察される。各時代の特色について、政治の展開などに着目しながら理解できるよう指導をしたい。
- 5 大正時代に行われた活動について、その活動が行われた理由を、資料を基に説明する問題。納税額や性別により制限されていた選挙権の拡大を求めた活動という学習事項を、資料から読み取れることと関連付けながら考察できていない解答が多かった。知識を活用して諸資料を読み解き、社会の様子などに着目しながら考察・表現する活動を重視したい。

＜第四問＞公民的分野を中心とする問題

選挙制度を理解すること、統計資料から適切な情報を読み取り表現することに課題

- 2 (1) 選挙の制度を定めた法律の名称を記述する問題。正答率は33.7%であった。「普通選挙法」という誤答が多くみられた。選挙に関する具体的な事例を取り上げるなどして選挙に対する関心を高め、正しい選挙が行われ

るための制度や取組について理解を深めることができるようにしたい。

- 4 松山市が選挙コンシェルジュによる啓発活動を取り入れている理由を、資料を基に説明する問題。政治的関心と投票行動の関係性を示した統計資料から、適切な情報を読み取ることができていない解答が多かった。様々な種類の統計資料を基に、多面的・多角的に考察し、適切に表現する活動を多く取り入れたい。

＜第五問＞地理的分野を中心とする問題

習得した知識と、資料から読み取れる情報とを関連付けて考察することに課題

- 3 (2) 福岡県の製造品出荷額等に関する資料の空所にあてはまる品目の組み合わせを選択する問題。正答率は50.6%であった。福岡県の製造業の変化の特徴と、資料から読み取れる情報とを関連付けた考察が不十分であったと推察される。習得した知識を活用して、資料を分析する活動を多く取り入れたい。

＜第六問＞歴史的分野を中心とする公民的分野との融合問題

近現代の歴史に関わる事象を、時期や年代、推移に着目して整理することに課題

- 4 占領期の日本、高度経済成長期の日本、現代の日本の3つの時期の代表的なできごとを、起こった年代の古い順に並べかえる問題。正答率は22.9%と全設問中で最も低く、戦後の日本社会の変化や推移について理解できていなかったと推察される。歴史に関わる事象の学習においては、時期や年代、推移などに着目して問いを設定し、図版や統計資料などの諸資料から歴史に関わる事象についての情報を読み取り、まとめる活動を重視したい。

問題				正答率→	←無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~48点)
第一問	1	多肢選択	歴史 (近代)	73.1%	0.0%	73.1%	a: 89.2% b: 76.0% c: 55.2%
	2	並べ替え	歴史 (近代)	42.0%	0.0%	42.0%	a: 70.5% b: 37.5% c: 20.8%
	3	語句記述	公民 (国際)	48.8%	15.8%	56.4%	a: 86.2% b: 57.7% c: 27.8%
	4	多肢選択	公民 (国際)	77.7%	0.2%	77.7%	a: 92.3% b: 78.9% c: 62.9%
	5	多肢選択	公民 (現代社会)	95.6%	0.1%	95.6%	a: 99.2% b: 97.6% c: 90.1%
第二問	1	多肢選択	世界地理 (気候)	70.8%	0.0%	70.8%	a: 87.1% b: 71.6% c: 54.9%
	2	多肢選択	世界地理 (農業)	48.7%	0.1%	48.7%	a: 65.8% b: 45.4% c: 36.4%
	3	語句記述	世界地理 (農業)	66.4%	7.0%	71.4%	a: 93.5% b: 75.8% c: 46.4%
	4	(1) 多肢選択	世界地理 (貿易)	84.3%	0.3%	84.3%	a: 95.5% b: 88.2% c: 69.9%
		(2) 論述	世界地理	35.4%	3.6%	58.3%	a: 77.9% b: 58.0% c: 40.6%
第三問	1	多肢選択	歴史 (古代)	39.7%	0.1%	39.7%	a: 59.6% b: 36.4% c: 25.1%
	2	多肢選択	歴史 (中世)	49.8%	0.1%	49.8%	a: 73.3% b: 44.3% c: 34.2%
	3	並べ替え	歴史 (近世)	46.4%	0.0%	46.4%	a: 69.2% b: 43.2% c: 28.9%
	4	語句記述	歴史 (近代)	40.2%	14.6%	51.3%	a: 79.1% b: 52.5% c: 24.5%
	5	論述	歴史 (近代)	27.4%	6.0%	54.6%	a: 72.8% b: 56.5% c: 35.8%
第四問	1	多肢選択	公民 (人権)	62.5%	0.1%	62.5%	a: 88.9% b: 65.0% c: 35.7%
	2	(1) 語句記述	公民 (政治)	33.7%	15.6%	34.5%	a: 67.5% b: 29.9% c: 9.2%
		(2) 多肢選択	公民 (政治)	75.3%	0.3%	75.3%	a: 93.8% b: 78.4% c: 55.0%
	3	多肢選択	公民 (人権)	68.3%	0.7%	68.3%	a: 76.0% b: 71.1% c: 58.1%
	4	論述	公民 (政治)	29.2%	6.1%	56.6%	a: 68.7% b: 61.2% c: 40.5%
第五問	1	多肢選択	日本地理	82.7%	0.1%	82.7%	a: 95.5% b: 85.1% c: 68.5%
	2	多肢選択	日本地理 (農業)	90.6%	0.1%	90.6%	a: 97.0% b: 92.7% c: 82.6%
	3	(1) 語句記述	歴史 (近代)	55.7%	11.2%	62.6%	a: 89.0% b: 67.0% c: 33.7%
		(2) 多肢選択	日本地理 (産業)	50.6%	0.6%	50.6%	a: 67.5% b: 50.3% c: 35.5%
	4	論述	日本地理 (工業)	55.0%	4.1%	75.8%	a: 92.4% b: 79.7% c: 56.3%
第六問	1	多肢選択	歴史 (近代)	45.1%	0.2%	45.1%	a: 65.3% b: 37.5% c: 34.8%
	2	多肢選択	歴史 (近代)	41.0%	0.3%	41.0%	a: 52.4% b: 36.3% c: 35.5%
	3	語句記述	歴史 (近代)	63.2%	15.8%	64.8%	a: 94.5% b: 70.6% c: 31.2%
	4	並べ替え	歴公	22.9%	0.3%	22.9%	a: 36.4% b: 18.8% c: 15.1%
	5	論述	公民 (企業)	46.9%	6.0%	68.1%	a: 87.3% b: 71.4% c: 46.9%
計						60.9%	a: 79.5% b: 61.6% c: 43.2%

令和 8 年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
社 会

第 一 問 国際連合の役割と取り組みについて、資料 A を読んで、あとの 1～5 の問いに答えなさい。

資料 A 国際連合の役割と取り組み

現在の世界には、各国が協力して取り組むべき問題があります。そうした問題の解決に主体的な役割を果たすことが期待される国際連合は、アメリカ大統領 ① の提案にもとづき、1920年に設立された②国際連盟にかわる新たな国際組織として、第二次世界大戦後に発足した組織です。国際連合には総会や③安全保障理事会などの主要機関が置かれ、専門機関などと連携しながら、④国際社会の平和維持や、⑤持続可能な開発目標（SDGs）の達成を目指した活動を行っています。

- 1 ① にあてはまる人物として、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。
- ア ワシントン イ チャーチル ウ ウィルソン エ レーニン
- 2 下線部②について、国際連盟の設立から国際連合が発足されるまでの間に起こった世界のできごとについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。
- ア ドイツのポツダムで会議が開かれ、日本の降伏条件や戦後処理について討議された。
- イ 日本、ドイツ、イタリアの間で日独伊三国同盟が結ばれ、三国間の関係が強化された。
- ウ アメリカの呼びかけでワシントン会議が開かれ、列強の間で海軍の軍備が制限された。
- 3 下線部③について、安全保障理事会の常任理事国である 5 か国が持つ権限により、重要な問題については 1 か国でも反対すると決定することができません。常任理事国のみが持つこのような権限を何というか、書きなさい。
- 4 下線部④について、国際連合が行う、紛争が起きた地域での停戦の監視や治安維持などにあたる活動の略称として、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。
- ア WTO イ WHO ウ ODA エ PKO
- 5 下線部⑤について、資料 B は、SDGs の達成に向けた日本政府の具体的政策の一部です。資料 B の取り組みと関連する SDGs の目標として、最も適切なものを、あとのア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

資料 B 「SDGs アクションプラン2023」の一部

事業名	世界遺産の森林生態系保全対策事業
事業概要	我が国の世界自然遺産の森林生態系を適切に保全管理し、世界遺産としての資質の維持・増進を図るため、必要な技術開発、科学的知見の収集を実施する。

（「外務省ホームページ」より作成）

- ア 平和と公正をすべての人に イ 陸の豊かさを守ろう
ウ 人や国の不平等をなくそう エ 貧困をなくそう

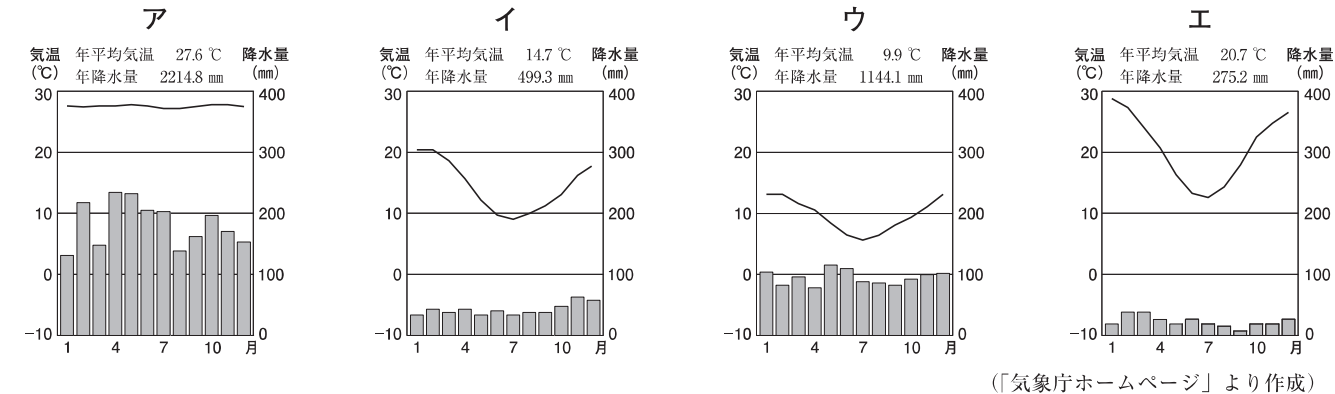
第 二 問 陽子さんは、社会科の「世界の諸地域を調べよう」という授業で、オセアニア州の3か国の特徴について調べ、略地図と資料Aを作成しました。これをみて、あとの1～4の問いに答えなさい。

略地図

資料A オセアニア州の3か国の特徴

- パプアニューギニアでは、熱帯雨林が広がっており、林業や①森林資源を利用した農業などが行われています。
- オーストラリアには、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が豊富にあり、②日本や中国、東南アジア諸国などに輸出されています。
- ニュージーランドでは、羊や牛などの牧畜がさかんに行われており、酪農品や肉類が重要な輸出品となっています。

1 陽子さんは、略地図中のPの都市の気温と降水量を調べました。Pの都市の気温と降水量をあらわしたグラフとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



2 陽子さんは、オセアニア州の3か国の農業について調べ、資料Bを作成しました。 X ～ Z にあてはまる国名の組み合わせとして、最も適切なものを、あとのア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B オセアニア州の3か国の農業（2022年）

	農林水産業		おもな農業生産物の生産量 (万 t)		おもな畜産物の生産量 (万 t)	
	就業者 (千人)	全就業者に占める割合(%)				
X	300	2.2	小麦 3,624 サトウキビ 2,867	生乳 845 牛肉 188		
Y	175	6.0	キウイフルーツ 65 リンゴ 58	生乳 2,105 牛肉 73		
Z	569	18.5	油ヤシの実 327 バナナ 124	ジビエ肉 44 豚肉 8		

（注）数字は四捨五入している。ジビエ肉とは、食肉として販売される野生鳥獣肉のことを指す。（「FAOSTAT」などより作成）

- ア X - オーストラリア

イ X - ニュージーランド

ウ X - パプアニューギニア

エ X - オーストラリア

オ X - ニュージーランド

カ X - パプアニューギニア
- Y - パプアニューギニア

Y - オーストラリア

Y - ニュージーランド

Y - ニュージーランド

Y - パプアニューギニア

Y - オーストラリア
- Z - ニュージーランド

Z - パプアニューギニア

Z - オーストラリア

Z - パプアニューギニア

Z - オーストラリア

Z - ニュージーランド

- 3 下線部①について、パプアニューギニアでは、樹木などを切りはらって燃やし、燃やした場所で、その灰を肥料として作物を栽培する農業が行われています。この農業を何というか、書きなさい。
- 4 下線部②について、陽子さんは、オーストラリアと諸外国との関係に興味を持ち、調べを進めました。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 陽子さんは、日本とオーストラリアの間の貿易について調べ、資料Cを作成しました。資料Cから読みとれることとして最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料C 日本からみたオーストラリアとの貿易（億円）

	2012年	2022年
日本の輸出総額	14,708	21,727
オーストラリアへのおもな輸出品〔輸出額〕	自動車〔7,525〕 機械類〔2,856〕 石油製品〔1,328〕	自動車〔11,053〕 石油製品〔3,828〕 機械類〔3,026〕
日本の輸入総額	45,036	116,225
オーストラリアからのおもな輸入品〔輸入額〕	石炭〔14,557〕 液化天然ガス〔10,446〕 鉄鉱石〔8,635〕	石炭〔52,689〕 液化天然ガス〔36,403〕 鉄鉱石〔9,489〕

（注）数字は四捨五入している。

（「日本国勢図会2024/25」などより作成）

ア 日本の輸出総額は、2012年の方が2022年よりも大きい。

イ 日本の輸出総額に占める自動車の輸出額の割合は、2012年、2022年ともに5割以上である。

ウ 2022年の日本の輸入総額は、2012年の輸入総額の4倍以上である。

エ 2022年の日本の石炭の輸入額は、2012年の石炭の輸入額の5倍以上である。

- (2) 陽子さんは、オーストラリア政府が移民などへの英語教育に力を入れていることを知り、調べを進め、資料D～Fを作成しました。オーストラリア政府が移民などへの英語教育に力を入れている理由として考えられることを、資料D～Fを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料D オーストラリアへの移民の推移

- 1901年、オーストラリアへの移民はイギリスからの移民が中心であり、アジア系移民は制限されていた。
- 第二次世界大戦後、労働力不足を解消するために、イギリスからの移民に加え、英語を母国語としないヨーロッパ系移民などを積極的に受け入れた。
- 世界的な人権尊重の風潮が強まるなか、1973年にオーストラリア政府が白豪主義を撤廃し、非ヨーロッパ系移民を受け入れ、多文化主義を目指すことを宣言した。

（「概説オーストラリア史」などより作成）

資料E オーストラリアの総人口とオーストラリアに居住する移民の総計の推移（万人）

	オーストラリアの総人口	オーストラリアに居住する移民の総計
1947年	758	74
1961年	1,051	178
1971年	1,276	258
1981年	1,452	295
1991年	1,677	369
2001年	1,927	445
2011年	2,234	602
2021年	2,569	753

（注）数字は四捨五入している。

（「Australian Bureau of Statisticsホームページ」より作成）

資料F オーストラリアの「成人移民英語プログラム」

- 「成人移民英語プログラム」は、第二次世界大戦後に政府によって導入された、英語が母国語ではない移民などに対して、公用語である英語の学習機会を提供するプログラムである。
- 「成人移民英語プログラム」は、オーストラリア各地の語学学校などで、一定の条件を満たした移民などが無料で英語の授業を受講することができ、職場で役に立つ英語を学ぶクラスと、地域社会で人々と交流し自立した生活を送るための英語を学ぶクラスがある。

（「Australian Governmentホームページ」などより作成）

第 三 問 康平さんは、社会科の授業で、「古代から近代までの日本の政治体制」について調べ、次の表を作成しました。これをみて、あとの1～5の問いに答えなさい。

古代から近代までの日本の政治体制		
律令にもとづいた政治 ① 8世紀初めに定められた大宝律令により、国家のしくみが整えられた。律令にもとづき、天皇や貴族中心の政治が行われた。	幕府による政治体制 12世紀末に鎌倉幕府が成立し、武士を中心とした政治が行われるようになった。それ以降、②室町幕府、③江戸幕府と、幕府による政治体制が続いた。	新政府の樹立と国会開設 ④将軍から政権が朝廷に返上され、その後、新政府が樹立された。自由民権運動が高まるなか、大日本帝国憲法が發布され、⑤帝国議会が開設された。

- 下線部①について、8世紀の日本の政治について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア 藤原道長とその子である頼通が、摂政や関白の職につき政治の実権をにぎった。
 イ 仏教の力で国家を守ろうとした聖武天皇が、国ごとに国分寺などを建てるよう命じた。
 ウ 天皇の位を幼い皇子にゆずった白河天皇が、上皇として自ら政治を行った。
 エ 壬申の乱に勝利して即位した天武天皇が、天皇を中心とする強い国づくりを進めた。
- 下線部②について、室町時代に起きたできごとについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア 貿易を望む大名や豪商に対して、将軍が東南アジアへの渡航を許可する朱印状を発行した。
 イ 朝廷の勢力を回復させるために兵をあげた後鳥羽上皇が、幕府軍に敗れて隠岐に流された。
 ウ 将軍のあとつぎをめぐって有力な守護大名が対立したことをきっかけに、内乱が起きた。
 エ 二度にわたる蒙古襲来後に、生活が苦しくなった御家人たちが幕府への反感を強めた。
- 下線部③について、江戸時代に起きたできごとについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。
 ア 幕府が日本近海に接近する外国船を追い払うことを命じる法令を出した。
 イ 幕府が大名に一年ごとに領地と江戸の往復を義務づける制度を定めた。
 ウ 幕府が財政難に対応するために、質素・儉約などをかかげた享保の改革を行った。
- 下線部④について、将軍から政権が朝廷に返上されたこのできごとを何というか、書きなさい。
- 下線部⑤について、康平さんは、帝国議会の開設と国民の政治参加について興味を持ち、調べを進め、資料A～Cを作成しました。資料Cのような活動が行われた理由として考えられることを、資料A～Cを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料A 明治・大正時代の選挙制度

- 1889年に制定された法律では、有権者は、25歳以上の男子で、直接国税15円以上という高額な税金を納める者に制限された。
- 1919年の法律改正で有権者の納税要件が引き下げられ、25歳以上の男子で、直接国税3円以上を納める者とされた。

(「総務省広報誌」より作成)

資料B 日本の総人口と有権者数

	総人口 (万人)	有権者数 (万人)	割合 (%)
1890年	3,990	45	1.1
1920年	5,596	307	5.5

(注) 数字は四捨五入している。

(「総務省統計局ホームページ」より作成)

資料C 大正時代に行われた活動

- 吉野作造が、政治は国民の幸福のために、国民の意見によって行われなければならない、という考え方を主張した。
- 平塚らいてうが、市川房枝たちと、女性の政治参加の実現を目的とした組織をつくり、活動した。

(「吉野作造記念館ホームページ」などより作成)

第 四 問 国民主権と政治参加について、資料Aを読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料A 国民主権と政治参加

国民主権とは、国民が国の政治のあり方を決める権利を持つという意味であり、①基本的人権の尊重、平和主義と並ぶ日本国憲法の三大原則の一つです。国民主権を生かしていくためには、②国政選挙への参加や、③請願権の行使などを通じて、国民一人ひとりが自分たちの生活と社会の向上を目指し、④政治や社会に目を向け、主体的に関わる姿勢を持つことが大切です。

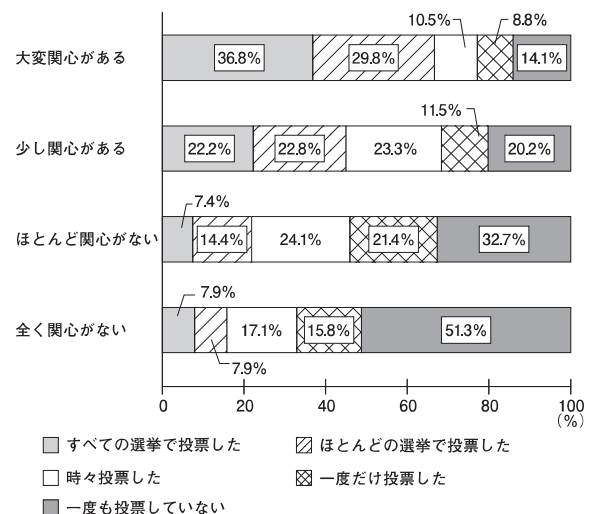
- 下線部①について、基本的人権の一つである、精神の自由を保障する日本国憲法の条文の一つとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 何人も、公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する。
イ 何人も、いかなる奴隷的拘束も受けない。又、犯罪に因る処罰の場合を除いては、その意に反する苦役に服させられない。
ウ 集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。
エ すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
- 下線部②について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。
(1) 日本において選挙区や議員定数などの選挙の制度を定めた法律を何というか、書きなさい。
(2) 2024年に行われた衆議院議員総選挙について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 全国を一つの選挙区として行われる比例代表制をとった。
イ 小選挙区制と比例代表制を組み合わせた小選挙区比例代表並立制が採用された。
ウ 選挙に立候補できる被選挙権年齢を30歳以上とする制度が採用された。
エ 3年ごとに選挙を実施する制度により、総定数の半数が選出された。
- 下線部③について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 国や地方公共団体などに意見や要望をする。 イ 労働条件の改善などを会社と交渉する。
ウ 国が正しく政治を行っているかを調査する。 エ 裁判所に権利侵害の救済を求める。
- 下線部④について、愛媛県松山市では、市内の学生を選挙コンシェルジュに任命し、選挙コンシェルジュによる啓発活動を行っています。松山市が選挙コンシェルジュによる啓発活動を取り入れている理由を、資料B、Cを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料B 松山市における取り組み

- 松山市の若者の投票率が、全国と同じように低いという課題があったため、2014年2月から、松山市選挙管理委員会は、市内の専門学校生や大学生を選挙コンシェルジュに毎年任命し、選挙コンシェルジュによる啓発活動を行っている。
- 選挙コンシェルジュとなった学生たちが、市内の高校などで、期日前投票や模擬選挙などの主権者教育に関わる出前授業を行っている。
- 2023年には選挙コンシェルジュによるSNS啓発チームが立ちあげられ、10代、20代向けの選挙に関する投稿を行っている。

(「選挙コンシェルジュ10周年レポート」などより作成)

資料C 松山市の若者の政治的関心と投票行動



(注) 調査は松山市内の19歳から30歳を対象としている。
数字は四捨五入している。

(「2020年若者の投票行動に関する調査結果」より作成)

第 五 問 絵美さんは、社会科の授業で「九州地方の特色」について調べ、資料Aと略地図を作成しました。これをみて、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料A九州地方の特色

自然

九州地方の特色

農業

工業

・山地や火山が広く分布し、①活火山も多い。

・暖流の影響により、冬でも比較的温暖な気候である。

・九州北部では平野を中心に稲作がさかんに行われている。

・九州南部ではシラスと呼ばれる火山の噴出物が積もった台地が広がり、畑作や畜産がさかんである。

・②北九州工業地帯（地域）は、日本の重工業の発展を支えた。

・自動車工場や半導体関連工場が九州各地に建てられ、近年は、③熊本県に半導体関連企業が集まっている。

略地図

- 1 下線部①について、略地図中の活火山 a の周辺の地域の説明として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 南北に山地が連なり、その東側に広がる平野ではてんさいなどの畑作が行われている。
- イ 日本最大の湖が位置する低地であり、南北にのびる山地の間に盆地が広がっている。
- ウ 巨大なカルデラが広がり、火山の熱を生かした地熱発電所や温泉がみられる。
- エ 火山灰が積もってできた赤土におおわれた台地と、日本最大の平野が広がっている。
- 2 絵美さんは、九州地方の農業について調べを進め、資料Bを作成しました。資料Bから読みとれることとして、最も適切なものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B九州地方の各県の農業統計（2023年）

	田と畑の面積（ha）		米の収穫量（t）	小麦の収穫量（t）	牛肉の生産量（t）
	田	畑			
福岡県	63,500	14,900	157,400	70,000	26,070
佐賀県	41,600	8,340	115,700	50,900	2,380
長崎県	20,700	24,600	48,800	2,150	8,980
熊本県	64,000	40,300	155,400	19,100	14,960
大分県	38,500	15,500	89,900	9,790	3,340
宮崎県	33,900	29,800	71,400	330	25,670
鹿児島県	33,600	77,100	83,400	130	47,800
沖縄県	750	35,400	1,850	10	1,910

（注）数字は四捨五入している。

（「作物統計調査」などより作成）

- ア 長崎県は、田、畑の面積がどちらも、沖縄県よりも広い。
- イ 鹿児島県は、九州地方のなかで畑の面積が最大で、小麦の収穫量は最も少ない。
- ウ 宮崎県は、牛肉の生産量が九州地方のなかで最も多い。
- エ 福岡県は、米、小麦の収穫量ともに九州地方のなかで最も多い。

3 下線部②について、絵美さんは、北九州工業地帯（地域）について調べました。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 北九州工業地帯（地域）の発展のきっかけとなった、1901年に鉄鋼の生産を始めた官営の施設を何というか、書きなさい。

(2) 絵美さんは、北九州工業地帯（地域）がある福岡県の製造品出荷額などの推移を調べ、資料Cを作成しました。資料C中の X ～ Z にあてはまる品目の組み合わせとして、最も適切なものを、あとのア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

資料C 福岡県の製造品出荷額等の総額と上位3品目の推移（億円）

	1960年	1990年	2020年
総額	6,388	77,690	89,519
上位3品目 〔製造品出荷額等〕	X 〔2,400〕 化 学 〔 885〕 Y 〔 840〕	Z 〔9,539〕 X 〔9,003〕 電気機械〔7,441〕	Z 〔27,961〕 Y 〔10,396〕 X 〔 7,705〕

（注）数字は四捨五入している。

（「工業統計調査」などより作成）

- | | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|
| ア | X - 輸送用機械 | Y - 鉄鋼 | Z - 食料品 |
| イ | X - 輸送用機械 | Y - 食料品 | Z - 鉄鋼 |
| ウ | X - 食料品 | Y - 鉄鋼 | Z - 輸送用機械 |
| エ | X - 食料品 | Y - 輸送用機械 | Z - 鉄鋼 |
| オ | X - 鉄鋼 | Y - 食料品 | Z - 輸送用機械 |
| カ | X - 鉄鋼 | Y - 輸送用機械 | Z - 食料品 |

4 下線部③について、絵美さんは調べを進め、資料D～Fを作成しました。半導体関連企業が熊本県に集まった理由として、資料D～Fからわかることを、簡潔に述べなさい。

資料D 半導体の使用と製造

- 半導体は、軽量で高価な部品であり、スマートフォンや自動車、タブレットなど、私たちの生活に関わるさまざまなものに使用されている。
- 半導体をつくる際には、わずかなゴミや不純物であっても水で洗い流す必要があることから、大量の水が必要となる。

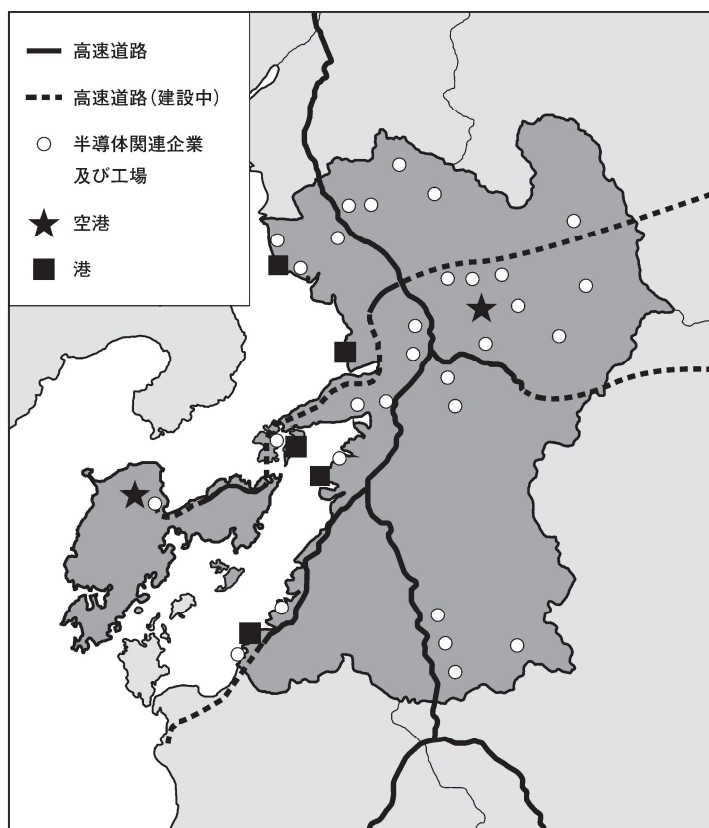
（「半導体理解促進ガイドブック」などより作成）

資料E 熊本の水資源

日本の平均降水量が、年間約1,700mmであるのに対し、熊本地域では年間約2,000mmの降水量がある。降雨の多さが地下水に恵まれる一因となっており、熊本市では、市民の使う水道水の100%が地下水でまかなわれている。

（「熊本県ホームページ」などより作成）

資料F 熊本県の交通網と半導体関連企業及び工場の立地



（「企業立地ガイド熊本」などより作成）

第 六 問 日本の労働環境の歴史について、資料A～Dをみて、あとの1～5の問いに答えなさい。

資料A 日本の産業革命と労働環境

①19世紀末から産業革命が始まると、多くの労働者は長時間労働を強いられた。大正時代には、各地で②労働運動や社会運動が活発化した。

資料B 戦時体制と労働者

日中戦争の長期化を受け、③戦時体制を整えた。軍需品の生産が優先され、多くの労働者が軍需工場などに動員された。

資料C 日本国憲法の制定と労働者の権利

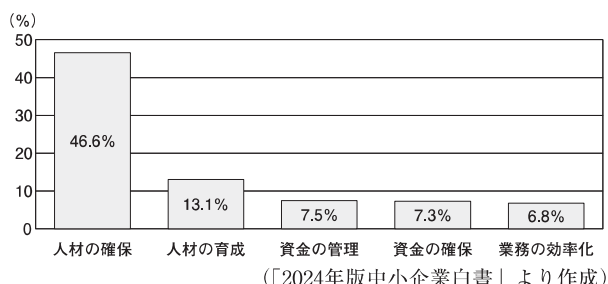
④第二次世界大戦後、政治や経済などの民主化が進められた。日本国憲法の制定により、労働者の権利が保障された。

資料D 働き方改革の推進

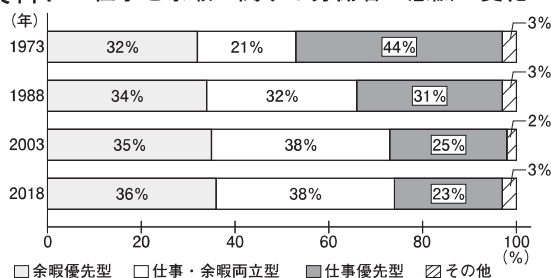
2019年に働き方改革に関する法律が施行され、大企業や⑤中小企業に働き方改革に取り組むことが促された。

- 下線部①に関連して、日本で産業革命が始まった19世紀末の世界のようすについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア フランスでナポレオンが皇帝となった。 イ 日本と清との間で日清戦争が起きた。
ウ アヘン戦争でイギリスが清に勝利した。 エ 中国で辛亥革命が起こり中華民国が成立した。
- 下線部②について、大正時代の労働運動や社会運動に関係することがらについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア シベリア出兵による米の急激な値上がりに対して、米の安売りを求める騒動が全国で起きた。
イ 足尾銅山で起きた鉱毒被害を受け、田中正造が銅山の操業停止を求めて活動を始めた。
ウ ポーツマス条約の内容に不満を持った国民が、政府を激しく批判した。
エ 農地改革によって、多くの小作人が農地を手に入れ自作農となった。
- 下線部③について、政府が議会の承認なしに、労働力や物資を戦争に動員することを目的として、1938年に制定された法律を何というか、書きなさい。
- 下線部④について、第二次世界大戦後の日本の労働環境や生活環境に関連するできごとについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。
ア 労働基準法が制定され、労働時間や賃金、休日などの労働基準が定められた。
イ 男女雇用機会均等法が制定され、雇用や昇進などの職場での男女平等が定められた。
ウ 公害対策基本法が制定され、公害を防止するための国や企業の役割などが定められた。
- 下線部⑤について、現在の日本において、中小企業が働き方改革に取り組む目的について、資料E～Gを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料E 中小企業が考える最も優先度が高い経営課題



資料F 仕事と余暇に関する労働者の意識の変化



(注) 数字は四捨五入している。
(「令和7年版労働経済の分析」などより作成)

資料G 中小企業が取り組む働き方改革の事例と職場の変化

- 月給及び休憩時間はそのまま、全従業員の勤務時間を30分短縮した。
- 時間単位で休暇を取得できる制度を導入するなど、休暇をとりやすい環境を整えた。
- 勤務時間内に仕事が終わるように、業務効率化のための知恵を出し合う雰囲気が生まれた。

(「中小企業における働き方改革取組事例集」より作成)

令和8 (3) 社会正答表

備考欄	配点	第 一 問	
	15		
	3	1	ウ
	3	2	ウ → イ → ア
	3	3	拒否権
	3	4	エ
	3	5	イ

備考欄	配点	第 二 問	
	17		
	3	1	ア
	3	2	エ
	3	3	焼畑農業
	3	(1)	イ
	5	4 (2)	(例) オーストラリアでは、第二次世界大戦後、英語を母国語としない移民が増加し、これらの人々に対して公用語である英語を学ぶ機会を提供することで、移民が自立して生活したり働いたりできるようにするため。

備考欄	配点	第 五 問	
	17		
	3	1	ウ
	3	2	エ
	3	3 (1)	八幡製鉄所
	3	(2)	オ
	5	4	(例) 熊本県は、半導体を製造するのに必要な水資源が豊かであるだけでなく、空港や高速道路、港が整備されており、半導体の輸送ルートが確保されているから。

備考欄	配点	第 三 問	
	17		
	3	1	イ
	3	2	ウ
	3	3	イ → ウ → ア
	3	4	大政奉還
	5	5	(例) 選挙権が納税額や性別により制限されている状況を改善して、より多くの国民に選挙権が与えられ、広く政治に参加できるようにするため。

備考欄	配点	第 四 問	
	17		
	3	1	ウ
	3	2 (1)	公職選挙法
	3	(2)	イ
	3	3	ア
	5	4	(例) 政治的関心が高いほど、投票行動につながる傾向があるため、選挙コンシェルジュによる出前授業やSNSでの投稿などを通じて、若者の政治的関心を高め、若者の投票率向上を目指しているから。

備考欄	配点	第 六 問	
	17		
	3	1	イ
	3	2	ア
	3	3	国家総動員法
	3	4	ア → ウ → イ
	5	5	(例) 中小企業では人材の確保が課題となっており、仕事と余暇の両立や余暇を優先する労働者の意識の変化に応じて、業務の効率化や勤務時間の短縮、休暇制度の充実を図り、人材の確保につなげようとしている。

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

満点 100 点